

# 活動レポート

## 道南技術士会

文責：道南技術士会幹事 奈良哲男

### テーマ：「函館及び道南の産業を近隣地域の歴史的見地から検証する」 世界遺産「平泉」を歴史的見地で探るツアー

#### 1. はじめに

函館地域の産業を歴史的見地から検証するというテーマで始まったツアーも今回で7回目となりました。道南の歴史は東北からの影響を強くうけており、そして東北の歴史を深く探れば「平泉」にたどり着きます。今回は、今年の春に世界遺産登録を受けた「平泉」を歴史的見地から検証しました。

今回も、毎年お世話になっている歴史学の中村和之教授の解説と、現地では遺跡発掘研究者の方々の解説を受けることが出来、歴史的見地を深めることが出来たツアーとなりました。

#### 2. 概要

日時：2011年11月5日(土)～6日(日)の2日間

場所：岩手県 世界遺産登録地「平泉」

宿泊：平泉町大沢温泉旅館

行程：函館～JR～新青森～バス～平泉

1日目 ①新青森駅

②骨寺村遺跡(平泉町)

③岩手・宮城内陸地震祭時(まつるべ)大橋被災跡(一ノ関市)

④白鳥館遺跡(平泉町)

2日目 ⑤毛越寺(平泉町)

⑥中尊寺(平泉町)

⑦柳之御所遺跡(平泉町)

⑧平泉文化遺産センター(平泉町)

講師：函館工業高等専門学校 中村和之 教授  
歴史学(アイヌ史・北東アジア史)

遺跡解説講師：骨寺村 鈴木弘太学芸員

白鳥館遺跡 及川真紀学芸員

毛越寺・中尊寺

元平泉町世界遺産推進室室長補佐 八重樫忠郎氏

参加者：11名

#### 3. 見学地レポート

##### ー1日目ー

午前中の移動時間は、バス内で見学地の「世界遺産平泉」解説DVDの鑑賞と参加者の近況報告スピーチ、そして中村教授の歴史解説など、いつもどおり有意義な時間を過ごし、昼に平泉に到着した。

①新青森駅：1日目午前



函館からJRで津軽海峡をくぐり、去年2010年12月に開業したばかりの新青森駅に着く。駅周辺は今のところさっぱりとしており(何もない)、2015年に北海道新幹線が開業、予定されている仮称：新函館駅周辺もこんな感じなのだろうと思いつながら、チャーターしていた貸切バスに乗り込み、東北自動車道を平泉へ向けて南下した。

②骨寺村荘園遺跡：1日目午後(最初の見学地)

「ほねでらむら」と読む。世界遺産登録からは今回



除外されているが柳之御所遺跡、白鳥館遺跡とともに追加登録を目指して、さらなる発掘調査や研究が進んでいる。ここでは、一ノ関市の鈴木弘太学芸員が南北朝時代に描かれたという荘園絵図から、今もそのまま残っている景観(風景)の解説があった。まさしく、「土地の記憶」を実感した瞬間であった。

### ③岩手・宮城内陸地震祭時(まつるべ)大橋被災跡

骨寺村荘園遺跡の近く、巖美溪の上流に2008年の岩手宮城内陸地震で崩壊した全長94.9m(3径間)の祭時(まつるべ)大橋が保存されており見学できる。

### ④白鳥館遺跡：1日目午後

「しろとり」と読む。奥州藤原氏の重要な拠点として都市「平泉」の船着き場「川湊」だったとされる。ここでは、及川真紀学芸員が駆けつけてきてくださって、夕方暗くなるまで遺跡をいっしょに散策し、貴重で新鮮な情報を交えた解説をいただいた。



## —2日目—

いよいよ世界遺産登録「平泉」の中心的な遺構の見学である。朝早くから駆けつけてくれたのは、平泉町建設水道課、課長補佐の八重樫忠郎氏である。八重樫氏は、元平泉町世界遺産推進室室長補佐で、平泉ユネスコ協会の理事、そして研究者である。また、世界遺産登録に向けて重要な役割を果たしたお一人としてとても有名な方なのである。毎回のことであるが、行く先々、ご当地の研究者が駆けつけてくれて解説してくださるのだが、中村教授の人脈の凄さに参加者一同、感心するのであった。



### ⑤毛越寺：2日目午前(朝一番)

「もうつつじ」と読む。毛越寺は浄土を表す建築・庭園、考古学遺跡群が世界遺産登録をうけている。本堂の横にある庭園の池はまさに浄土であり、朝もやに包まれた景色に私は声を失ったのである。



### ⑥中尊寺

いよいよ世界遺産「平泉」の主役、中尊寺。言わずと知れた金色堂がある。1124年、藤原清衡が建立した金色堂には藤原3代の遺体と4代泰衡の首が安置されている。この物語も実に深いものであるが、興味のある方はご自分でお調べになることをおすすめする。(実は、文字制限で書きたくても書けない)



### ⑦柳之御所遺跡

柳之御所とは、奥州藤原氏が政治を行った場所と推定されており、中心的な建物の復元計画がある遺跡である。

### ⑧平泉文化遺産センター

「平泉の文化遺産」をわかりやすく紹介する町営のガイダンス施設。入場無料であるが、内容は充実している。

## 4. おわりに

今回の世界遺産「平泉」は、さすがに1泊2日の研修では時間が足りなかった。しかし、解説者の豪華さがたった2日間でも相当な「深さ」を私たちに提供してくれた。ここに、解説してくださった研究者の方々へ感謝の意を表し、活動レポートとさせていただきます。